

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	整育園通所センター【ちあふる】
------	-----------------

公表日 2026年2月15日

利用児童数 2025年11月25日 30名 回収数 17名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	3	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	6	4	7	・少ないように感じる	事業所内の他クラスの利用児を訪ねたり、事業所内イベントを通して、地域の子どもと交流を図っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	0	3		一昨年度より小平市で行われている保護者向けペアレントトレーニング研修のお知らせを配布しています。当事業所での開催も検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0		お子さまの状況についてさらに共通理解がもてるよう、工夫してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	7	0	1	・保護者会はある	保護者会を年に1度開催しています。きょうだい同士が交流できる場がもてるよう検討中です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	0	1	・「ちあふる」だけの情報が少ない。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1		個人情報の管理については、今後とも十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	4	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	・家に帰りたくないくらい、ちあふるを楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0		

事業所における自己評価総括表

○事業所名	整育園通所センター		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		2025年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		2025年 11月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 16人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性のある個別支援 子どものことを十分に理解し、特性等に応じた専門性の高い支援を意識的に提供していること。	こまめな情報共有や個別支援計画の内容の充実など専門的な支援を行い、保護者からの信頼に繋がるよう意識して行っている。	療育支援ソフトを導入することで、事務作業の効率化を図り、また保護者との連絡共有が行いやすくなるため、より充実した支援の提供に繋げている。
2	清潔で適切な環境整備 生活空間が清潔で心地よく、子ども達の活動に合わせた空間となっていること。	朝夕の清掃に加えて、部屋の安全点検、玩具の安全確認など、環境整備を定期的に行うことで使いやすい施設になるよう工夫していく。	行っている安全への取り組みを保護者へ共有することで、さらに安心して利用できる施設にしていきます。
3	子どもの通所に対する高い満足度 子どもが通所を心から楽しみにしていること。	日頃より個々の利用児の状態をよく観察し、その日のペースを考えながら、活動を行っています。また、その様子を職員間でも共有しチームとして連携しながら支援を行っていく。	小学校1年生から高校3年生までの幅広い年代のお子様がいっぱいいますが、個々の興味があるところ、集団で活動するところをバランスよく取り入れながら、通いたくなる活動の充実を今後も図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携や、家族・きょうだいへの支援プログラムに改善すべき課題が明確になっています。	放課後児童クラブや地域の他の子どもと活動する機会が提供されていない、または認識されていないこと。	地域の子どもたちとの交流や、きょうだい向けのイベント開催など、家族・きょうだい同士の交流の機会を提供していく。
2	「非常時等の対応」への見直しと情報共有	事故や災害時の対応について、保護者が十分に理解できていない、または不安を感じている可能性がある。	マニュアルの見直しや、保護者への周知徹底の必要性があり、検討していく。

3	家族支援プログラム	ペアレント・トレーニングなどの家族支援プログラムや研修会・情報提供の機会が、まだ保護者の半数強にしか届いていない状況がある。	情報提供の機会を増やしていく。掲示のほか、保護者会などでお伝えする。
---	-----------	--	------------------------------------